



みんなの暮らしを守れ! 出動、田村組! の巻

株式会社 田村組

土木・建設

所在地 新城市石田字南畑84-2 TEL 0536-22-1651



みんなが暮らすこのまちを 住みやすくする仕事

1931年(昭和6年)の創業以来、道路や公園、下水道などを整備する、まちづくりの仕事を行っています。また、市民のいこいの場である桜淵公園の「笠岩橋」や、新城総合公園などの工事も手がけました。最近では地域の環境を守るため、間伐や作業路の造成など、森林を整備する事業にも取り組んでいます。



現場監督
岡本 典史さん

地面から急に水が出てきたり、巨大な岩が行く手をふさいでも、臨機応変に対応するのが腕の見せ所です!

スリランカから日本に来て4年目です。入社したばかりですが、色々な現場で仕事をさせてもらっています。



現場スタッフ スミーラさん



チーム 田村



巨大な重機を自分の手足のように、思い通りに操作することは、とてもやりがいのある仕事で大好きです!

重機オペレーター 島澤 義行さん

ミッション1

国道301号を 復旧せよ!

台風の影響で、新城市の中心部と作手地区を結ぶ、国道301号の一部が崩落し、通行ができない状態になってしまいました。ここでは、多くの人が通勤や通学、買い物などで利用する、大切な道路だったので、市民の生活に支障が出て、一刻も早い復旧が求められました。

このままでは危なくて人も車も通れない!

災害発生

出動

俺たちの出番だ!!



重機を操り迅速に障害物を撤去するぞ!



迅速に、でも細心の注意を払って工事を行う



3カ月で
通行可能に!!

田村組はすぐに応急工事と調査を開始。しかし急傾斜地だったり、軟弱な地盤だったりと作業は難航。日本に数台しかない特殊な機械を確保したり、軽量の発泡スチロールを盛土の代わりに積み重ねる工法を採用するなど、道路の開通まで半年はかかると言われた工事を、わずか3カ月間で復旧することに成功したのです。



ミッション2 橋の崩落を未然に防げ!

暮らしや移動に不可欠な「橋」の修繕工事や耐震補強、塗替えも田村組の仕事です。老朽化や突発的な災害で、万が一橋が崩れてしまったら、命にかかわる一大事です。橋のかかる危険な高所でも、みんなの安全を守るため、日夜作業を行います。



ミッション3 土砂災害からみんなを守れ!



現場監督
遠山 一吉さん



台風などで大雨が続くと、山で土石流が発生して、ふもとのまちに大きな被害を及ぼすことがあります。これを防ぐのが「砂防ダム」。山の中の沢に沿ってコンクリートの壁を作ります。重機も入れない山奥に作られることが多く、工事完了まで10年以上かかることもあります。

ミッション4 フォレストアドベンチャー・新城を作れ!

新城総合公園にある自然を生かしたアスレチック施設「フォレストアドベンチャー・新城」を作る際に、使用する木材を伐採したり、現地へ入る道を作ったのも田村組。森の木や地形をそのままの姿で活用し、いつでも元の自然な状態に戻すことが可能な画期的な施設なのだ。



現場監督 鈴木 翔太さん

新たなチャレンジ 森林整備事業

山の中で工事をしていると、地盤がもろく崩れてしまう場所が多く存在していることに気が付きます。昔は山に杉やヒノキを植えて、立派に育つまで管理したので、木が地面にしっかり根を張り、丈夫な地盤を作ってくれていました。しかし今は、木々の手入れをする人が少なくなり、その結果、地盤がもろく、災害に弱い山になってしまっています。そこで田村組は、森林を整備することで、災害を防ぎ、木材を資源として有効活用する、環境と経済を両立できる林業を目指して取り組んでいます。

現場監督
岡田 知也さん



代表取締役社長
田村 太一さん

メッセージ 社長からみんなに MESSAGE

困った時は田村組、そんな会社を目指します

私たちは、「地域の困りごとを解決する」を会社の使命としています。一昔前の高度成長期は、道路や橋を作ることが必要とされましたが、山に囲まれた奥三河では、放置された山林をどう管理するかが、今は重要な課題になっています。時代とともに変化する、地域の課題にしっかりと向き合える会社でありたいと思います。